



# 木質廃棄物を有効活用しCO2の削減を



国内最大級の生産量を誇る木材パレット

## 木材パレットから生まれた 新たなリサイクル方式

山室木材工業は米原市に本社をおく、木材パレットの製造・販売を行う企業だ。パレットを売ることがメインだった木材会社だが、今では木質廃棄物のリサイクル事業に取り組んでいる。そのきっかけは、お客様から「使い古したパレットを引き取ってもらえないか」という要望からであった。主に木質チップを再生し、様々な形の木材廃棄物を受け入れ、自社開発による大型リサイクルラインで、高品質な木製チップを生産・出荷している。

山室木材工業は発電、エネルギー事業にも積極的だ。廃棄に困った木材パレットから木材チップへとリサイクルするとともに、それらのチップを有効活用するためにバイオマス発電も行っている。木材チップを燃料として利用し、発生した蒸気でタービンを回して発電する。また、バイオマス発電以外にも、滋賀県からの公募をきっかけに、湖北を流れる姉川にあるダムを使って、水力発電の事業も2017年に始めた。

## 木材温室ハウスでマンゴー栽培

発電だけではなく、自社の裏にある農園でマンゴー栽培もしている。マンゴーといえば、暖かい南国のフルーツというイメージがあるが、バイオマス発電で得たエネルギーを使って、木材を利用した木造温室で栽培している。寒い滋賀県湖北ではあるが、温室で栽培しているため、品質も南国のものに比べて劣らない。マンゴーに目をつけたきっかけは、現グループ代表がブラジルに留学に行き、そこで目にした多くのマンゴーに魅せられたことだという。マンゴーの他にも、いちごやニンニクも栽培している。栽培だけでなく同社では、カフェも経営している。長浜市にあるSweets & Café Dragée (ドラジェ)だ。農園で栽培したマンゴーやいちごを使ってケーキなどを中心に販売している。今後は百貨店などでの販売も目指しているそうだ。

## 多種多様な取り組みに挑戦

発電・エネルギー事業に加えてマンゴー栽培、さらにはカフェ経営まで、多種多様な取り組みに挑戦している山室木材工業。今後はどんな事業を展開するのだろうか。木材会社という枠組みを超える、今後の事業展開にも期待だ。



木材温室ハウス

### 取材先 山室木材工業株式会社

山室木材工業株式会社は、滋賀県米原市に本社をおく、主に木材パレットの製造・販売を行う企業だ。

『お客様の声にスピードとスマイルで対応し、自然と産業の共存を目指す』という理念のもと、自然と産業の共存を目指す



### 取材者

滋賀大学 1回生 張 龍也

安くて質の良いエネルギーが世界中に行き届く未来を作りたい！

立命館大学 3回生 中田 峻輔

森林環境が保護され、自然豊かな世界を保ちたい！